

HOSOO FLAGSHIP STORE 2019年9月2日(月)Open

株式会社 細尾（京都市中京区）は、西陣織の技術を用いたテキスタイルを世界のラグジュアリーマーケットに提供するテキスタイルメゾン、『HOSOO』のコレクションを展開する『HOSOO FLAGSHIP STORE』を、9月2日（月）にオープンいたします。

ブランド初の旗艦店となる『HOSOO FLAGSHIP STORE』は、京都の旧市街である烏丸御池エリアに位置し、伝統的な左官技術をはじめとした多岐にわたる職人の手技が随所に感じられる、「工芸建築」として設計されました。人の情緒を育む工芸としての店舗は、入り口では古来の技術である「版築」によって積層された4色の土壁が暖かく出迎えます。黒漆喰の外壁面にほどこされた本金箔のラインを辿ると、上層階には世界初の素材である「西陣織の外壁材」が使用され、未来への道筋を示すかのようにストアを照らします。『HOSOO FLAGSHIP STORE』では、1200年の歴史によって生まれた西陣織の技術や素材を用いた、唯一無二のHOSOOのテキスタイルコレクションの数々や、テキスタイルの美しさを最大限に生かしたファニチャーやプロダクトのホームコレクションを展開いたします。国内外で高い支持を受けながらもこれまでラグジュアリーホテルなどでのみで展開していたHOSOOのテキスタイルを実際に手に取り、お求めいただけるようになります。

ストア内には、主として日本の染織文化にまつわる展示を展開するギャラリースペースとして、『HOSOO GALLERY』、また、HOSOOのファニチャーや工芸のものづくりによって詠えられた器に実際に触れながら、ティータイムをお楽しみいただける『HOSOO LOUNGE』も併設いたします。

様々な角度から日本の染織文化に触れていただきながら、未来に目を向けた伝統工芸のものづくりを世界へ向けて発信する場所として、京の地に新たな一歩を踏み出します。



『HOSOO FLAGSHIP STORE』 店舗情報

住所：京都市中京区柿本町 412 TEL：
075-221-8888

URL：www.hosoo.co.jp

オープン日：2019年9月2日（月）

営業時間：10:30-18:00

（日曜日・祝日・年末年始を除く）



< 建築情報 > 設計者コメント

（株）細尾本社ビルでもある『HOSOO FLAGSHIP STORE』は、引きの視点においては、ミニマリストティックな外観を持つ一方で、寄りの視点においては、細やかなディテールや物の質感、肌触りによって、多彩な表情が立ち現れ、「引き」と「寄り」の見えがかりの落差が感じられる建築を考えました。

細部のテクスチャーや触覚的直接的性を通して、物は人間に働きかけ、情操を豊かにしてくれます。美しいものを身につけると気持ちが晴れやかになるように、実用的な機能を持ちながらも、それだけにとどまらない人間の情操を育む力が、工芸にはあります。同様に、本社社屋として必要とされる実用的な用途・機能を備えると同時に、一人ひとりの琴線に触れるような、工芸としての建築を意図しています。

建築のほとんどは、版築塀や黒漆喰の外壁によって囲われています。被覆された内部空間であるゆえ、お越しの方々が親密に交流することのできる、「サロン」としての公共空間が、閉じられた建築の内側に内包されています。街路の歩行者にとって、建築の内部は道なりに続く版築塀によって隠蔽されていますが、時折現れる塀間の視界の抜けと、外壁を走る金箔目地の流れによって、街を歩く人々を建築の中へいざなうことを考えています。

HOSOO architecture



HOSOO Textile Collections

HOSOOのテキスタイルは、これまできものや帯に用いられていた「西陣織」に、HOSOOならではの革新的な技術と、タイムレスなデザイン感性を加えることによって生まれた唯一無二のテキスタイルです。西陣とは京都の旧市街に位置する地域の呼称で、その地域で生産される上質の織物が「西陣織」と呼ばれます。「西陣織」は古都・京都で約1200年前より、貴族や武士階級、さらには裕福な町人達の支持を受けながら、育まれてきました。ごく限られた人々だけのために圧倒的な美を追い求めて贅と技を極めた歴史的背景、また、完成までに必要な20以上もの工程それぞれを、一人の職人が担当するという高い専門分業性によって、類稀なる職人技が継承されてきました。1200年に渡り、通常30~32cmである帯の幅で織られてきた「西陣織」を、HOSOOでは、独自開発した織機によって、世界のテキスタイルの標準幅である150cmの広幅で織ることを可能にしました。HOSOOのテキスタイルコレクションの数々は“More than Textile”のコンセプトの元に生み出されます。それは、「想像を超えたテキスタイル」を意味し、より美しいもの、今までに見たことがないものを求め続けた「西陣織」の歴史に習い、技術・素材・デザインなどすべての面において、常に革新的なものを追求める哲学を意味しています。

『HOSOO FLAGSHIP STORE』では、そのテキスタイルを贅沢に用い、ファニチャーやクッション、ルームシューズなどのホームコレクションを展開いたします。卓越した職人技によってのみ成し得る、究極のクラフツマンシップをご自宅でお楽しみいただけます。



クッション「New York」
税抜価格 33,000円（税込価格 35,640円）



ルームシューズ「Frosted Petals」
税抜価格 70,000円（税込価格 75,600円）



ポーチ ハーフムーン「Bubbles」
税抜価格 21,000円（税込価格 22,680円）



ラウンジチェア「Blink」
税抜価格 590,000円（税込価格 637,200円）



デイベッド「Luster」
税抜価格 460,000円（税込価格 496,800円）

HOSOO LOUNGE

ストア内で展開するラウンジェリア。厳選した上質なドリンクとともに、きものや工芸のストーリーを感じられるスイーツをご用意いたしました。店内でのお召し上がりとお持ち帰りの両方でお楽しみいただけます。

<かさね色目のマカロン>

平安時代に公家文化から生まれた女性のきもの配色美である「かさね色目」をテーマにしました。平安の宮廷の人々は、四季折々の変化を豊かな感性で敏感に感じ取り、比喩表現で衣の色に名称をつけていました。衣の表地と裏地の色の組み合わせを重ねて表すことを「重ね色」、さらに十二単に代表されるように装束として衣を何枚も重ね着し、表の衣の色の配色を示したのが「襲(かさね)色目」です。のちにこの両方を合わせて「かさね色目」呼ぶようになり、日本の伝統色の組み合わせとして、日本人が作り上げてきた配色法であるその数は、200にもものぼると言われています。日本における染織の特徴は、古来より美意識の反映として、それぞれの季節にふさわしい色や紋様が選ばれ使用されてきたことにあります。日本の繊細な感性をあらわすその風習を受け、京都の菓子職人との協業により作り上げた、かさね色目を想わせる色合い、また風味豊かな旬の味わいによって、四季をお楽しみいただける『HOSOO LOUNGE』オリジナルのマカロンです。9月、10月は「秋」の3種、11月からは「冬」の味で展開いたします。

紅葉 すだち

【表: 萌木 裏: 薄萌木】

裏がわずかに黄味を帯びはじめのもの、表はまだまだ青いままの様子。初々しい色づきの風情をあらわします。青々としたすだちのクリームが爽やかな風味をお楽しみください。

青紅葉 和栗

【表: 萌木 裏: 黄】

季節がうつろい、黄味を帯びて色づく樹々の葉。秋が深まり、成長して青みを増したものの真紅に染まるにはまだ早い頃の景色を捉えた情緒ある色目。和栗を贅沢に使用し、香ばしさと食感をお楽しみいただけます。

紅葉 さつまいも

【表: 紅 裏: 濃蘇芳】

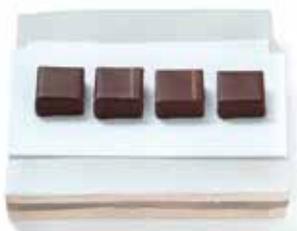
「揉み出づる」を語源とし、驚くほど鮮やかな赤へと葉の色が変化する様子を、当時の人々は神や自然の力によって葉の内側にある美しい色が揉み出されるように表に滲み出していると捉えていました。深まる色合いとともに旨味を増す、さつまいもの自然の甘みをお楽しみいただけます。

<HOSOO LOUNGE オリジナルショコラ>

伝統的な左官技術による土壁や版築を壁面全体に用い、職人によって本金箔を直線に施すなど、職人の手技を感じる「工芸建築」として建てられた『HOSOO FLAGSHIP STORE』。京都の各地で受け継がれてきた技術が集まり、ここからまた次世代へ繋がっていくようなタイムレスなものづくり。クラフトマンシップへの想いを込めた店舗をイメージした、オリジナルのショコラです。



「かさね色目のマカロン」
初紅葉、青紅葉、紅葉(左より)
各400円(税込価格432円)



「オリジナルショコラ」
プレーン、プラリネ、柚子、ごま(左より)
各380円(税込価格410円)



「ペアリングセットミルクティ・マカロン」
1,300円(税込価格1,404円)

HOSOO GALLERY

『HOSOO FLAGSHIP STORE』内に位置する『HOSOO GALLERY』では、織物をメディアとして、日本の歴史、文化、そして未来について発信する展覧会を年間2~3回不定期にて開催いたします。

オープニングとして開催する「THE STORY OF JAPANESE TEXTILES—日本の美しい布—」は、「細尾」12代目の細尾真孝が、日本国内33箇所の染織産地を訪ね歩き、古くから伝わる布の技巧や美しさを独自の視点で記録したドキュメンテーションを軸に、布のコレクションと共に構成して展示いたします。

布のコレクション展示では、2015年から4年の歳月をかけて細尾が訪ねた全国各地の染織の中から、「越後上布」「黄八丈」「京友禅」「大島紬」など、その土地ならではの歴史や風土によって育まれた布の原点に焦点を当てます。熟練の職人たちの手によって幾重の工程を経て織り上げられた至高の布から、長い年月をかけて人々の暮らしの中に育まれてきた布など、多種多様な染織にまつわる物語を、各地より集めた実物の布や、各産地に特色をもたらしている素材や道具など、貴重な資料の展示を通して紹介します。また、4年間に及ぶ取材の中では、それぞれの産地の自然環境や染織の作業風景などを写真によって記録してきました。その写真は、現時点で延べ2万点にも及びます。この写真記録を元に、高谷史郎氏ディレクションによる映像作品を制作し、幅180cmの織機の糸に投影。布が織り上げられる様子を再現しつつ、色彩やパターンに分解・構築しなおすことで、布の新たな様相を表現します。

これらの展示は単なる伝統的な工芸の技法や歴史を回顧するに留まらず、常にたゆまぬ革新を続けることで現代に継承され続けてきた布や、様々な時流の変化により途絶えながらも現代において復刻された布など、まさに「現在を生きる布の物語」を紹介するものです。北海道から沖縄まで、全国の産地より布を一堂に会することで、これまでに見落とされてきた水平的な繋がりを見出し、次世代へと進展するためのレファレンスとして、多くの方と共有する場となることを目的としています。

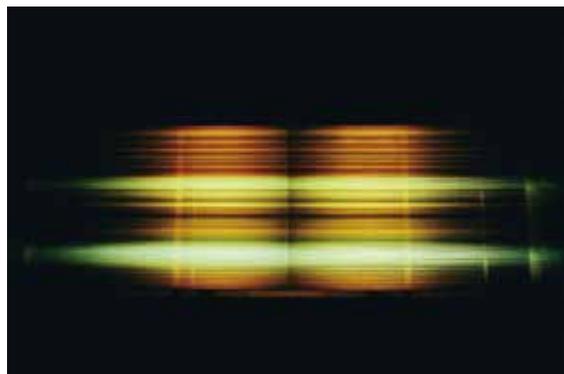
<オープニング展示>

「THE STORY OF JAPANESE TEXTILES—日本の美しい布—」

会期：2019年9月2日(月)–2019年12月14日(土)

開館時間：10:30–18:00 (日曜日・祝日・年末年始を除く)

入場は閉館の15分前まで 入場料：無料



読者お問い合わせ先：HOSOO FLAGSHIP STORE TEL：075-221-8888

プレスお問い合わせ先：press@hosoo.co.jp 担当：武田・酒井